

前立腺がん術後地域連携パスについて

- ◇ 基幹病院で手術治療をされた患者さんに対して、お近くの連携医と基幹病院の双方で連絡を取り合い、術後の定期検診を行っていくために作られた一連の書式（パス）です。
- ◇ これにより、基幹病院への頻繁な通院が不要となり、また不便さや外来での長い待ち時間からも解放されます。また、複数の主治医によるサポートが受けられる長所がうまれます。
- ◇ パスについての詳細な説明は「結（ゆい）日記」をご参照ください。

通院の基本

- ◇ 通院の基本は、診察とPSA採血などの通常の通院は連携医で行い、基幹病院へは1年に一度受診し必要に応じて画像診断などの検査を行います。
- ◇ どちらに受診する場合もこのパス冊子を必ず持参してください。
- ◇ PSA値が0.2ng/ml未満の時は術後再発なしと判断されます。
- ◇ PSA値が0.2ng/ml以上が続くときは、再発と判断されパスは中止となり、基幹病院で治療を開始することになります。

あなたのデータ

◇手術年月日 年 月 日

◇前立腺全摘除術の術式

開腹 腹腔鏡 ロボット支援

◇術前ホルモン療法 （あり、なし）

◇術前PSA値 （ ）ng/ml

◇病理学的ステージ

ステージA ステージB
ステージC ステージD

◇術後TNM分類

T（2a、2b、2c、3a、3b）
N（0、1、X）
M（0、1）

◇術後グリソンスコア： + =

◇尿道側あるいは膀胱側の断端にがんは（あり、なし）

◇前立腺被膜にがんは（あり、なし）

◇リンパ節郭清は施行（しています、していません）
施行した場合、リンパ節にがんは（あり、なし）

◇パス開始時PSA値 （ ）ng/ml